

【知りたい！聞きたい！「広島労働局」！】

●採用後はどこに配属される？

労働局やハローワーク、労働基準監督署に配属されます。

ハローワークは県内15か所、労働基準監督署は県内に8か所あります。

【広島県内のハローワーク】

- ① ハローワーク広島 (広島市中区)
- ② ハローワーク広島東 (広島市東区)
- ③ ハローワーク可部 (広島市安佐北区)
- ④ ハローワーク広島西条 (東広島市)
- ⑤ ハローワーク広島西条 竹原出張所 (竹原市)
- ⑥ ハローワーク呉 (呉市)
- ⑦ ハローワーク尾道 (尾道市)
- ⑧ ハローワーク福山 (福山市)
- ⑨ ハローワーク三原 (三原市)
- ⑩ ハローワーク三次 (三次市)
- ⑪ ハローワーク三次 安芸高田出張所 (安芸高田市)
- ⑫ ハローワーク三次 庄原出張所 (庄原市)
- ⑬ ハローワーク府中 (府中市)
- ⑭ ハローワーク廿日市 (廿日市市)
- ⑮ ハローワーク廿日市 大竹出張所 (大竹市)

【広島県内の労働基準監督署】

- ① 広島中央労働基準監督署 (広島市中区)
- ② 呉労働基準監督署 (呉市)
- ③ 福山労働基準監督署 (福山市)
- ④ 三原労働基準監督署 (三原市)
- ⑤ 尾道労働基準監督署 (尾道市)
- ⑥ 三次労働基準監督署 (三次市)
- ⑦ 広島北労働基準監督署 (広島市安佐北区)
- ⑧ 廿日市労働基準監督署 (廿日市市)

● 人事異動は何年おきか？



概ね2～3年おきに行われる。勤務地が変わる場合もあれば、勤務地は変わらず内部の部署異動により、仕事内容だけ変わる場合もあります。

例：【内部の部署異動】

ハローワーク広島 雇用保険給付課

(失業保険等の給付に係る事務、窓口対応等)



ハローワーク広島 職業相談部門

(再就職、転職等を希望する求職者の方々に係る職業相談、職業紹介等)

● 人事異動の度に引っ越しが必要となるか？



労働局職員は国家公務員ですが、労働局においては「定着局」を設定するため、希望地(都道府県)に定住できます。

広島局定着希望であれば、**広島県内のみの異動**です。

ただし、5年目に2年間のみ、幅広い知識、経験等の習得、局を越えた人間関係の構築等を目的に、中国地方の他県(鳥取、島根、岡山及び山形のいずれかの県)で勤務することになりますが、本人が希望しない限り2年を越えて勤務することはありません。

広島県内は交通機関も整っており、転居を伴う異動は殆どありません。

● 人事異動の度に、今までやったことのない業務をすることになるのか。



職業安定行政の業務を大きく分けると、①職業相談・職業紹介業務、②雇用保険業務、③求人業務、④雇用対策業務の4つとなりますが、全て労働に関わる業務として密接な繋がりがあり、習得しやすいと思います。

以前行っていた業務を、配属所が換わり担当することも頻繁にあるため、経験を積み重ねれば積むほど色々な事案に対応しやすくなります。

労働基準行政(事務官)においては、労災保険業務を担当することになりますが、配属された地域の産業や特性により、同業務でも幅広い知識や経験を積むこととなり、「労災保険」のプロとして活躍できます。

●学生時代等に接客業務を行ったことがなく、不安だが大丈夫か。



大丈夫です。

労働局の仕事は窓口業務がメインとなり、サービス行政とも呼ばれていますが、職員の大半は入局当時には接客業務未経験です。研修により知識・技能を習得し、OJTを含めた経験を積むことで対応できるようになります。

大勢の人の前で話したり、初対面の人と話すのは緊張する、という人も、徐々に慣れていきます。

自分では対応しきれない事案等は、先輩や上司が相談にのり、カバーしてくれます。

丁寧に、真摯にお客様と接することを心掛けていれば、お客様との信頼関係も築くことができますはずです。

●研修はどうなっている？

採用後の4月上旬、広島合同庁舎にて、中国ブロック内労働局で新規採用された職員を一同に集め、4日間にわたる『新規採用職員研修』を行います。

その後も、1年目の秋から冬にかけて埼玉県朝霞市にある労働大学校（厚生労働省の中央研修施設）で1週間程度行う『基礎研修』があります。全国から同じ行政に携わる仲間が100人程度集まり、グループワークや懇親会の開催もあり、とても充実した楽しい研修です。そこで仲良くなった仲間とは、それぞれの県に戻った後も連絡を取り合ったり、旅行しあったりしている職員もいます。

その他にも、新しい業務に携わった際に受講する『専門研修』（一週間程度）や『新任労働基準監督官研修』（採用年度に年間合計3ヶ月）が、上記労働大学校で一週間程度行われる等、研修制度は充実しています。



●職場の先輩、上司の雰囲気はどのような感じか。

労働局の仕事は対人業務がメインとなるため、話しかけやすい人、優しい雰囲気の人が多い気がします。

毎日お客様と接しているので、人の話を聞くことが得意な人も多いと思います。

充実した職業人生を送るには、「どんな仕事をするか」ということはもちろん大切ですが、「どんな人と仕事をするか」ということも大切です。

仕事が忙しくても、職員同士で協力し合って、時には愚痴をこぼせるような環境で仕事ができれば、疲れや負担も軽減されます。

●労働局に入って良かったことは？

人が生きていく上で切っても切り離せない「職業」に係る業務に携わっており、大きな使命感を感じると共に、やり甲斐も感じて仕事をしています。接客を行うことで人間的にも成長できていると感じます。

また、優しい先輩、上司、同僚、後輩が多く、「ワンチーム」を実感することができる職場です。



●有給休暇は取りやすい？



労働局は働きやすい職場作りを目的として指導等を行っている行政なので、職員自らが率先して職場環境を整えていく必要があります。

マンスリー休暇（月に少なくとも1日年次休暇（有給休暇）を取得する制度）の徹底により、有給休暇を取得しやすい環境が整っていますので、**多くの職員がたくさんの有給休暇を取得**しています。

また、育児休業については、**女性はもちろん取得率100%**です。**男性についても取得率が高く**、「平成29年度仕事と家庭の両立支援関係制度の利用状況調査」で厚生労働省は**全省庁中1位**になりました。



●サークルや部活はあるの

有志による野球やマラソンなどサークル活動も盛んで、職員同士の交流を深めています。

野球は中国5県の労働局それぞれにチームがあり、年1回大会も開催しています（ちなみに平成30年は広島労働局が優勝しました）。

また、広島はカープファンやサンフレッチェファンが多いので、職員同士で集まって観戦したりしています。大勢でゴルフをしたり、キャンプ、旅行に行ったりしている職員もいます。

参加は強制ではなく、あくまで自由なので、興味があるものがあれば、気軽に参加できます。

上記に興味があるものがなければ、自分から「こういうことに興味がある」という話を先輩にしてみるのも良いと思います。そこから話が広がっていき、新たなサークルが作られることもよくあります。

●仕事のやりがいは？

前述したように、労働局の仕事は、人が生きていく上でとても重要な「職業・労働」に関する業務です。

「仕事が決まりました！」「紹介してもらった会社で頑張っています！」「職場で悩んでいたことが、お陰様で解決できました！」「解雇となり、途方に暮れていましたが、話を聞いてもらい元気が出ました。失業保険の手続きができるんですね！」など、お客様の人生に関わる大きな分岐点で、少しでも役に立てたと感じるとき＝やり甲斐を感じます。

また、社会的に就職が困難な方々（障害のある方、高齢の方、母子・父子家庭の方など）への支援も労働局でなければできないことが多く、真の「ありがとう」がいただけたとき、大きなやり甲斐を感じます。



●仕事で苦労したことは？

毎日様々なお客様の対応をしていると、感謝をいただくことも多いですが、当然そればかりではありません。

例えば雇用保険の給付業務。失業した人に対し、次の仕事が見つかるまでの一定期間、失業手当として支給手続きを行う業務ですが、働いている期間に雇用保険料を納める必要がある等、支給要件というものがあるため、失業したすべての人に支給できるわけではありません。

支給がもらえると思って来所されたお客様が支給要件を満たさず、支給できない場合、中には怒りを露わにされる方もいらっしゃいます。

そういう方々への対応は時間も要し、時に困難を感じることもあります。

しかし、そのような場合でも、お客様にどのように対応するか、でその後が変わってきます。

お客様の話に耳を傾けず、一方的に制度がこうだから支給できない、というような説明のみを行えば、お役所仕事と言われ更に怒りをかうかもしれません。

状況にもよりますが、そのような場合でもまずお客様の話をしっかり聴くことで、他の制度を提案出来たり、他機関へ誘導できる場合があるので、根気強く真摯に対応することが大切になります。

結果的に、「話を聞いてもらえてよかった、ありがとう」といって感謝していただくこともあります。そのときは、普段以上に充実感を感じることもあります。

まだまだ聞きたいこと、聞いてもらえる日を、楽しみにしています！